

講義コード	25468023	
担当者	原 田 哲 史 教 授	
研究題目	経済の歴史・思想・文化・社会	
<p>&lt;ゼミで学ぶ内容と進め方&gt;</p> <p>この研究演習入門では、私の講義「経済の歴史と思想」「文化と社会の経済学」がそうであるように、歴史・思想・文化・社会——つまり非数学的な側面——を重視して経済を考え・学ぶことが目的です。</p> <p>ゼミ生が自分の関心に合わせてテーマを選んで報告することになりますが、選択範囲が広すぎて困らないように、原則として清水書院の『人と思想』シリーズ*のなかから、各グループ（ゼミ生をグループに分けて）ごとに最も関心のある人物（思想家・文化人）について1冊を選んで、グループでその本についてプレゼンし、みんなで討論します。もしもこのシリーズに適切な本が見付けられない場合は、私と相談のうえ、それと類似の本（過去の人物の生涯・思想を説明した200ページを少し超えるもの）をシリーズ外から選んでも構いません。各グループが1冊を選定してプレゼンの準備する間に、まず全員で内田樹『下流志向』を講読して、学ぶ姿勢についての認識を深めます。</p> <p>* <a href="http://www.shimizushoin.co.jp/general_books/thinker_books/tabid/74/Default.aspx">http://www.shimizushoin.co.jp/general_books/thinker_books/tabid/74/Default.aspx</a></p> <p>&lt;ゼミでの心構えと評価&gt;</p> <p>数学は用いませんが、歴史・思想・文化・社会に関する文献の読解という苦勞がともないます。それをいとわない強い関心と強い意志が必要です。そうした関心・意志のない学生は、このゼミには向いていません。</p> <p>毎回のゼミやゼミ行事には、基本的に全員参加です。また、しっかりした報告（プレゼン）を行うことを重視します。ルーズなゼミ生には単位を与えないことがありますので、応募に際して十分に気を付けてください。</p> <p>&lt;ゼミの運営&gt;</p> <p>このゼミは（おそらく）それほど大きくないので主に私が直接指導しますが、ゼミ長・副ゼミ長・コンパ委員・合宿委員となった学生はその任をしっかりと遂行してください。たえず私に報告・連絡・相談（ホウ・レン・ソウ）して、円滑に事を進めること。</p> <p>&lt;応募にあたっての心構えと条件&gt;</p> <p>下記の「受け入れ条件」に書きましたが、「経済の歴史と思想」の講義に強い興味をもった学生でなければ勉学についていけないと判断します。希望者は必ず（一次申込み～4次申込みを問わず）すでに説明会に出席して、志望理由書（説明会出席者にのみ配布）を余白のないように記入したうえで、申込期日に経済学部事務室に提出してください。また、そのうえで応募者は面接に合格してください（不合格もありえます）。</p>		
受け入れ条件	①「経済の歴史と思想」（私以外の担当でもよい）の単位を70点以上で習得していること（そうでない者には特別に私の同講義のテストを実施するので80点以上で合格すること）、②説明会に（3回のうち1回は）出席すること、③余白なく記入した志望理由書を申込時（各回）に提出すること、④面接を受けて合格の判断を得ること。以上、①～④すべてを満たすことを条件とします。	
担当者プロフィール	専攻	文化と社会の経済学、経済の歴史と思想、経済哲学、社会思想史、経済学史
	現在の研究テーマ	ヨーロッパ（とくにドイツ）を中心とした社会・経済思想史
	所属学会等	社会思想史学会、経済学史学会、日本シェリング協会、進化経済学会、Verein für Socialpolitik